

どろんこ子どもクラブを 市の補完事業として認めて下さい！

大垣市は「学校5日制」導入時に留守家庭児童教室の土曜日保育を廃止しました。その結果、共働き家庭や一人親家庭では大変困っています。次世代育成支援に関するニーズ調査結果でも、「土曜日保育」と「利用できる学年の延長」の要望が強く、私は議会で再三取り上げてきました。どろんこ子どもクラブは設立当初から土曜日保育や夏休みなど長期休暇の高学年の受け入れを行っています。大垣市が「子育て日本一」を目指すのであれば、市で実施していない事業をどろんこクラブが行っているわけですから、少なくとも市の委託事業として位置づけるべきです。

大垣市議員 笹田トヨ子

留守家庭児童教室では 親の要求を満たしていません。

大垣の留守家庭児童教室は、全小学校に設置され、全国的に先進的ではありますが……

※月～金曜日 午後6時までの保育

(夏休みなどは午前8時～午後6時)

※土曜開設なし

※3ヶ月以上・月15日以上保育に欠ける状況でなければ利用できない。(パートなどで通常は不要、夏だけ・・と言う利用はできない)

※小学校1年～3年生まで

※小学校の空き教室で実施

どろんこ子どもクラブは

「どろんこ子どもクラブ」は大垣市新田町の理容学校跡地借りて開設しています。(TEL 88-1809)
留守家庭児童教室を次の様に補完しています。

- ※ 土曜日の学童保育を実施しています。
- ※ 夏休みや長期休暇だけの学童保育もしています。
- ※ 小学1年生～6年生までの保育をしています。
- ※ 平日を含め午後7時までの長時間保育をしています。(土曜日・学校休業日 午前7時半～午後7時)
- ※ 学区を越え、全市からの子どもを受け入れます。
- ※ 子どもの自主性・集団を育むよりよい保育をめざします。
- ※ よりよい保育・安全確保のための十分な職員配置
- ※ 親と指導員の共同の運営です。

民間学童保育 「どろんこ子どもクラブ」は

子ども達を働きながらも安心して育てたい、放課後ものびのび元気に過ごして欲しいと言う親たちの願いで1999年、夏休み子どもクラブとしてスタートしました。学校週5日制を受けて土曜日保育、そして子ども達の成長を見続けられる拠点として平日保育も、みんなの願いを一つずつ実現しながら活動を続けてきました。

財政的には、本人負担の利用料(夏休み33000円・土曜日(月)5500円・平日(月)11000円・・他)に加え、岐阜県からのミニ学童クラブサポート事業補助金(約90万円)を受け、さらに年100万円替い物資活動・バザー活動を父母会が中心になって担いまかなって来ています。

労働条件の多様化や子どもをめぐる事件の多い状況の中、子ども達の安全や集団の遊び・育ち合いを保障する学童保育の要望は高く、全小学校に「留守家庭児童教室」を設置し、全国的にも先進的な学童保育制度を実施している大垣市であっても、私たち「どろんこ子どもクラブ」の利用者は、年々増加しています。長期・土曜日・長時間の要望で「大垣市からの紹介で……」と訪れてこられる方もおられます。

三位一体改革・経費節減の動きの中で、岐阜県の補助金・ミニ学童クラブサポート事業補助金が、大垣市からの委託がないと受けられなくなる方向性がたざれています。県の同じ補助金を受けている他の自治体の学童保育クラブでは、国庫補助の対象になるように市の委託の対象にする動きもあるようですが、大垣市は「留守家庭児童教室」があるということで委託や補助を考えていないようです。

これ以上の利用料の値上げや財政活動の強化は限界と、大垣市の留守家庭児童教室の補完事業として位置づけ、委託・補助を要求しています。

